

ものごとの強み弱みと顧客ターゲットに着目したアイデア発想メソッド

寺地 洋之 (てらじ ひろゆき)
工学部 建築学科 教授



用途・応用分野：コンセプトワーク、ブレインストーミング、棚卸し

■ 研究シーズ概要

当メソッドは、「強み・弱みカード」「5x5x2マトリクス」「アレンジカード」「ペルソナシート」の4点を使います。メソッドはものごとの強み・弱みをあきらかにする第1段階、次に第1段階であきらかにした強みをさらに強め弱みを反転させるアイデア抽出の第2段階に分かれます。

KJ法などで、「思いつくことを書いて」と言われて困ったり、分類化で迷ったことは多いと思います。当ツールは、思考を誘発・整理整頓し、アイデア発想を確実にステップアップします。



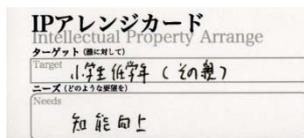
強み弱みカード



5x5x2マトリクス



ペルソナシート



アレンジ (対象を下層のようにしてアレンジすると)

ネジに X-Y 軸を固定。ネジの上下動で鉛 (鉛) が浮び上がるメカニクス作成

ベネフィット (2のように入力を確認することができる)

鉛が浮びあがり、楽しい。(親もうれしい) ニーズを満たすことができる

アレンジカード

■ 研究シーズの特徴

アイデアは「イメージしろ！」「考えろ！」と言われても生まれません。当メソッドのような手法(コツ)を利用し、論理的かつ発展的に思考を展開できるようになればアイデアは生まれるようになります。

- ① 行為と結果を2段階表記する強み弱みカードは書きやすい
- ② ものの要素と時間軸を明確化した5x5x2マトリクスは思考の整理整頓が容易
- ③ アレンジカードにて強みは更に強く、弱みはそれを反転するのでアイデア発想が容易
- ④ 128例の人物像を網羅したペルソナシートで発想を刺激

